

## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月13日

上場会社名 日本伸銅株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5753 URL <http://www.nippon-shindo.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 孝之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 木本 道隆 TEL 072 - 229 - 0346  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

## (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,350	0.8	612	100.1	9	△97.0	5	△97.4
2024年3月期第1四半期	6,302	△18.0	305	△46.5	321	△62.3	221	△62.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	2.67	—
2024年3月期第1四半期	103.43	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年3月期第1四半期	16,204		10,941		67.5
2024年3月期	14,972		10,927		73.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,941百万円 2024年3月期 10,927百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2025年3月期	—				
2025年3月期(予想)		5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	4.5	960	△20.0	960	19.8	670	20.6	313.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	2,370,000株	2024年3月期	2,370,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	232,903株	2024年3月期	232,903株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	2,137,097株	2024年3月期1Q	2,141,297株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期貸借対照表に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	5

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国が好況を維持し、中国は低調なまま推移しました。わが国経済は、外国為替市場で円安が進行し、国際相場商品である銅の建値は急騰しました。また、消費者物価が上昇し、賃金も上昇しました。株価は高いまま推移しました。

このような経営環境の下、当社は、伸銅品の需要が低迷したため、臨時休業日を設けて生産調整しました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、販売数量が4,886トン（前年同期比15.1%減少）となりました。銅相場が上昇したため、売上高は63億50百万円（同0.8%増加）、営業利益は6億12百万円（同100.1%増加）となりました。銅相場のリスクをヘッジするためのデリバティブ取引でデリバティブ損失が4億38百万円、デリバティブ評価損が1億72百万円発生したため、経常利益は9百万円（同97.0%減少）、四半期純利益は5百万円（同97.4%減少）となりました。

当社は伸銅品関連事業の単一セグメントとしております。伸銅品関連事業の部門別の経営成績は、次のとおりであります。

#### （伸銅品）

当社の主力製品である伸銅品においては、販売数量4,699トン（前年同期比15.2%減少）、売上高は55億13百万円（同2.0%減少）となりました。

#### （伸銅加工品）

伸銅加工品においては、売上高は2億69百万円（前年同期比15.6%減少）となりました。

#### （その他の金属材料）

その他の金属材料においては、伸銅品原材料の転売が主で、売上高は5億68百万円（前年同期比59.6%増加）となりました。

### （2）当四半期の財政状態の概況

#### （資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は131億13百万円となり、前事業年度末と比べ12億19百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が3億88百万円、電子記録債権が2億45百万円、棚卸資産が5億66百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は30億90百万円となり、前事業年度末に比べ11百万円増加しました。

この結果、資産合計は162億4百万円となり、前事業年度末に比べ、12億31百万円増加しました。

#### （負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は48億4百万円となり、前事業年度末と比べ12億5百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が3億40百万円、短期借入金が9億円増加したこと等によるものであります。固定負債は4億58百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円増加しました。

この結果、負債合計は52億62百万円となり、前事業年度末と比べ12億18百万円増加しました。

#### （純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は109億41百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が18百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は67.5%（前事業年度末は73.0%）となりました。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月13日「2024年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	190	195
受取手形及び売掛金	※2 3,339	※2 3,727
電子記録債権	※2 4,264	※2 4,510
商品及び製品	1,239	1,205
仕掛品	1,482	1,725
原材料及び貯蔵品	1,340	1,697
その他	36	50
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,893	13,113
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,078	2,078
その他(純額)	427	419
有形固定資産合計	2,506	2,497
無形固定資産		
投資その他の資産	86	80
その他	487	513
投資その他の資産合計	487	513
固定資産合計	3,079	3,090
資産合計	14,972	16,204
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 1,320	※2 1,661
短期借入金	1,700	2,600
未払法人税等	15	8
賞与引当金	96	39
その他	466	496
流動負債合計	3,599	4,804
固定負債		
退職給付引当金	21	24
その他	424	434
固定負債合計	445	458
負債合計	4,044	5,262
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,595	1,595
資本剰余金	290	290
利益剰余金	9,342	9,337
自己株式	△417	△417
株主資本合計	10,810	10,805
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	117	135
評価・換算差額等合計	117	135
純資産合計	10,927	10,941
負債純資産合計	14,972	16,204

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,302	6,350
売上原価	5,769	5,525
売上総利益	533	825
販売費及び一般管理費	227	213
営業利益	305	612
営業外収益		
受取配当金	7	6
受取保険金	23	—
デリバティブ利益	90	—
デリバティブ評価益	18	—
その他	2	2
営業外収益合計	142	9
営業外費用		
支払利息	0	1
デリバティブ損失	—	438
デリバティブ評価損	126	172
営業外費用合計	127	612
経常利益	321	9
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税引前四半期純利益	321	8
法人税等	99	2
四半期純利益	221	5

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

## 1 受取手形割引高

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
受取手形割引高	38百万円	20百万円

## ※2 四半期会計期間末日満期手形及び電子記録債権

四半期会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休業日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形及び電子記録債権が四半期会計期間末日残高に含まれております。

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	62百万円	50百万円
割引手形	28百万円	10百万円
電子記録債権	527百万円	551百万円
支払手形	19百万円	10百万円

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	32百万円	27百万円

(セグメント情報等の注記)

当社は、伸銅品関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。